令和7年度当初予算の概要
「みんなでつくる 笑顔と未来」をめざして

令和7年度当初予算が、令和7年市議会第1回定例会で可決成立しました。令和7年度当初予算の主要事業を紹介します。
※工事請負費等は予算額を記載していません。
問 財政課財政係

子育て・教育・文化 育ち・学びを通じて だれもが輝けるまち　稲城

●稲城市立小中学校における英語教育の向上事業の実施【4,636万円】

小中学校における英語教育の向上のため、外国との教育交流、外国語指導助手(ALT)の増員及び配置時間の拡充、中学校生徒との「1対1」のオンライン英会話の実施により、子どもたちの英語によるコミュニケーションの機会の充実を図ります。

●妊婦のための支援給付の創設【8,529万円】

妊娠・出産・子育てに係る経済的負担の軽減を図るため「妊婦のための支援給付」を創設し、妊産婦に対して妊娠後・出産後にそれぞれ5万円の電子ギフトを給付します。

●こども誰でも通園制度プレ事業の実施【5,673万円】

子どもの健やかな成長を図るため、保護者の就労等の有無にかかわらず、幼稚園等で未就園児を定期的に預かり、令和8年度からのこども誰でも通園制度の円滑な実施に向けて取り組みます。

保健・医療・福祉 だれもが地域で健やかに 暮らせるまち　稲城

●ふれあいセンター若葉台の開設

若葉台小学校の余裕教室を利用し、社会福祉協議会が運営するふれあいセンター若葉台を開設するための改修を行うと共に、運営費用の一部を補助します。

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業の実施（健康状態不明者の把握・支援の追加）【240万円】

医療・健診の受診歴がなく、かつ要介護認定の履歴がない健康状態不明者に対し、医療専門職が訪問して状態を把握し、地域の適切なサービスにつなげていくことで、疾病の重症化やフレイルを予防し、対象者や家族のQOL(生活の質)の向上を図ります。

●介護職員永年勤続表彰制度の創設【9万円】

市内介護保険サービス事務所に勤務する介護職員に対して、永年勤続表彰を行い、市民への介護サービス提供に係る功績をたたえます。

環境・経済・観光 水と緑につつまれ 活力あふれる賑わいのまち　稲城

●(仮称)根方谷戸公園の整備

TOKYO GIANTS TOWNへの玄関口にふさわしいにぎわいを創出する公園として、植栽等の整備を行います。

●ジャイアンツタウンスタジアム周辺自治体連携活動事業の実施【500万円】

読売巨人軍と協定を結ぶ周辺自治体と連携し、3月に開業したジャイアンツタウンスタジアムにおいて野球を中心としたスポーツを楽しめる機会の提供を行い、ジャイアンツのホームタウンとしての認知度の拡大を図ります。

●吉方公園の改修整備

吉方公園を誰もが安心して利用できるインクルーシブ公園として新たに開園するための改修整備工事を行います。

都市基盤整備・消防・防犯 安全でだれもが安心して 快適に暮らせるまち　稲城

※イメージ

●全天候型小型無人航空機（ドローン）の整備

より効果的な消防活動を行うことを目的として、全天候型の小型無人航空機(ドローン)を整備します。

●新モビリティ交通実証実験の実施【4,056万円】

深刻なバス運転手不足等による公共交通を取り巻く現状の課題に対応するため、新たな交通手段導入の検証を行います。

●防災行政無線設備の更新及び防災アプリの導入

防災行政無線設備を更新し、安定的かつ継続的な運用を図ると共に、本設備と連携した防災アプリを新たに構築し、市民への防災情報の伝達向上を図ります。

市民・行政 みんなでつくる 持続可能な市民のまち　稲城

●BPR推進アドバイザー業務委託の実施【1,320万円】

デジタル技術に関する知見を有する民間事業者の力を活用し、業務フローの見直し(BPR)等を行い、行政手続きのオンライン化を推進します。

●稲城市庁舎の施設設備における災害対策の実施（受変電設備改修工事）

災害対策として、停電時の業務継続可能エリアを拡大するため、庁舎受変電設備改修工事を行います。

●公共施設予約システムの更新【658万円】

利用者の利便性の向上及び施設管理業務の効率化を図るため、体育施設に引き続き、地域振興プラザ等の施設の予約においても新システムに移行します。

▲公共施設予約システム

凡例▶ 対対象(記載のない場合はどなたでも) 日期日 時時間 場会場 定定員(記載のない場合は定員なし) 内内容 講講師 持持ち物

令和7年度予算

令和7年度一般会計の予算は460億5,300万円で、前年度に比べて39億7,300万円、9.4%増加しました。予算規模は過去最大となりました。詳細は市Web(右下記参照)をご覧ください。

一般会計
460億5,300万円

一般会計と4つの特別会計・2つの企業会計の総額
791億7,807万円

会計名称		予算額	前年比
一般会計		460億5,300万円	9.4% ↗
特別会計	国民健康保険事業特別会計	79億9,533万円	3.2% ↗
	土地区画整理事業特別会計	28億8,375万円	△28.1% ↘
	介護保険特別会計	64億7,242万円	6.0% ↗
	後期高齢者医療特別会計	23億7,133万円	3.9% ↗
企業会計	下水道事業会計	36億1,635万円	10.8% ↗
	病院事業会計	97億8,589万円	1.1% ↗
合　計		791億7,807万円	5.3% ↗

▲予算書　▲令和7年度予算の概要

市長コラム No.158

令和7年度当初予算

第一回市議会定例会にて本年度の当初予算が可決成立しましたので、概要をお伝えします。

令和7年度当初予算は昨年8月に予算編成方針を定め、それに沿って原案の編成作業を進めてきました。

日本経済はコロナ禍からの回復基調を維持しているものの、物価上昇による個人消費の抑制、海外経済の減速見通しによる企業収益の先行き不安が懸念され始めています。一方で政府は「経済財政運営と改革の基本方針2024」において、我が国の経済はコロナ禍による落ち込みから回復し、高水準の賃上げ・企業の設備投資等、デフレから完全に脱却し成長型の経済を実現させる千載一遇の歴史的チャンスを迎えているとの認識です。

これらを踏まえ国や東京都の令和7年度予算案が策定され、いずれも過去最高額を更新しました。

稲城市においては、施設更新等の単年度要因があるものの歳出要求は高止まりしており、各部署からの当初要求では歳出総額が歳入総額より約61億4千万円も多い状態でした。この歳入不足額は昨年同時点の約59億円を超えて過去最大となり、これまで以上に困難な予算編成となりました。

市では、①健全財政の維持・第5次長期総合計画の実現・持続可能な行財政運営、②物価上昇・社会情勢の変化への対応、③震災や豪雨災害から市民を守る防災減災対策、④受益者負担の見直し・新たな財源確保・施策の優先順位付けの4点を基本として予算編成に取り組みました。

令和7年度一般会計予算は対前年度9・4%、397300万円増の総額460億5300万円で、過去最大規模となりました。

歳入では、歳入総額の約4割を占める市税が個人市民税の定額減税の終了・人口増・新築家屋の増等の要因により全体で6・4%、10億6000万円の増となりました。しかし、定額減税の減収補填として交付されていた地方特例交付金が約81%、約4億5400万円減額となり、純然たる市税の増収は約6億円です。

歳出では、給与改定により人件費が増、児童手当の所得制限撤廃・民間保育所等運営委託料・障害介護給付費・障害児通所給付費等により扶助費が増、第三小学校校舎建替工事・第二小学校校舎増築工事・公園整備等工事等により投資的経費が増、システム標準化関連費用・予防接種委託料・妊婦のための支援給付事業・給食賄材料費等により物件費が増、学校給食費保護者負担分補助金等により補助費が増となり、歳入同様に対前年度9・4%の増となりました。

本年度の主な工事は、多3・4・12号読売ランド線道路改良、多7・5・3号線道路新設、稲城駅南口駅前広場改良、吉方公園整備、第二小学校校舎増築、第三小学校校舎建替、中学校特別教室空調設備設置等で、これらを含めた工事関連経費の総額は約40億5千万円となり、予算規模を大きくしている要因です。

次に政策課題ごとの特徴的な予算を紹介します。

子育て支援関連

妊婦への経済的支援として妊娠届出時に5万円分、出産時に胎児数×5万円分の電子ギフトを給付します。産後ケア事業の拡充として市立病院に日帰り型を新設し、市内3カ所に地域子育て相談機関を設置します。保育園等に就園していない幼児を保護者の就労の有無にかかわらず預かる「こども誰でも通園制度」を一年前倒しで実施します。吉方公園を拡張しインクルーシブ公園として整備し、南山地区の公園用地2カ所を暫定整備・開放し、JR南武線高架下の東長沼地区に公園整備を行います。

保健・福祉関連

令和7年度で満了となる「稲城市医療計画」を令和7～8年度にかけて改定します。健康状態不明者を把握し疾病の重症化やフレイルを予防する高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を進め、市内3カ所目となる定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設を支援します。令和8年度に満了となる「稲城市地域包括ケア計画」を令和7～8年度にかけて改定します。若葉台小学校の余裕教室を利用してふれあいセンター若葉台を開設します。

教育関連

GIGAスクール構想第2期に向けタブレット端末の全台を入れ替えます。小中学校の英語力向上のためALTを増員・直接雇用し、中学校においてオンライン個別英会話を実施します。第二小学校校舎増築・特別教室空調設備設置、第三小学校校舎建替、向陽台小学校体育館バリアフリートイレ設置、第五中学校体育館屋上防水改修、中学校特別教室空調設備設置等の工事を実施し施設整備を進めます。

防犯・防災・減災関連

特殊詐欺対策として配布していた自動通話録音機の給付をやめて防犯機能付電話機への買い替えを支援します。木造住宅の耐震化を更に進めるため新耐震基準で建築された住宅のうち昭和56年～平成12年建築にも支援対象を拡充する他、旧耐震の木造住宅の解体工事やブロック塀撤去後のフェンス設置費用も助成対象とします。平成31年度に作成した「いなぎ防災マップ」を更新・全戸配布し、市役所庁舎の受変電設備を改修し停電時の業務継続可能エリアを拡張します。消防デジタル無線設備を更新し、障害発生時にも通信が途絶えないようにし、防災行政無線設備の更新に併せて防災アプリを導入し機能強化を図ります。稲城消防署の非常用発電機を容量が より大きなものに更新し、全天候型でスピーカーや物資搬送装置を備えたドローンを追加配備します。

デジタル化推進関連

民間事業者のデジタル知見を活用し事業課の業務フローを見直して行政手続きのオンライン化を進めます。都内自治体のIT化推進のために設立されたGovTech東京の人材を活用し市ウェブサイトのメンテナンスを通じて情報発信を改善していきます。令和6年度の体育施設に続き、その他の公共施設においても新予約システムに移行し、利便性を向上させます。

スポーツ・観光関連

読売巨人軍と協定を締結する周辺6市の広域連携事業としてジャイアンツタウンスタジアムを活用したイベントを実施します。令和7年度に満了となる「第二次稲城市観光基本計画」を改定します。老朽化した体育施設のナイター照明をLED化します。

地域公共交通関連

深刻なバス運転手不足に対応するため新モビリティ交通の導入に向けた実証実験を行うと共に南山地域等の公共交通の在り方を調査研究します。

なお、最近の物価高騰対策として、令和7年度当初予算とは別に2月14日に専決処分した令和6年度一般会計補正予算(第7号)で国の令和6年度補正予算に基づく物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した「住民税非課税世帯等臨時特別給付金」を予算化しております。

また、令和7年度当初予算と同時に第一回市議会定例会に上程した令和6年度一般会計補正予算(第8号)でプレミアム付き商品券の発行の他、物価高騰への対策を講じております。

稲城市長
髙橋勝浩

▲吉方公園

▲ジャイアンツタウンスタジアム

費費用(記載のない場合は無料) 申申込方法(記載のない場合は不要) 限申込期限 先申込先 主主催 共共催 問問い合わせ